

戦前の縄文土器研究

- エドワード・S・モースの大森貝塚の発掘
- 鳥居龍蔵と薄手式土器
- 松本彦七郎の層位学的研究
- 山内清男による『日本遠古之文化』
- ミネルヴァ論争
- 縄紋土器の大別と細別

戦後の縄文土器研究

- C14年代測定法の衝撃
- 山内の「短期編年」と芹沢の「長期編年」
- 「長期編年」の矛盾
- 縄文時代の見直し

型式学のおさらい

① 痕跡器官



加曽利E式の特徴である、口縁部のSの字を横にしたような隆帯文。この頃は粘土紐を貼り付けただけ。



隆帯文に沈線が加わり、よりS字が際立つようになる。



隆帯がS字の屈曲部以外緩やかになる。



隆帯が消滅し、沈線のみが残る。

(2012『縄文土器ガイドブック』より一部改変)

② 型式組列

1 ページ目参照

③ 一括遺物



良好な一括遺物

- ・貝塚
- ・住居跡
- ・祭祀遺構

注意が必要な一括遺物

- ・河川
- ・土砂崩れ

井戸尻遺跡の第4号型穴住居跡からまとまって出土した土器群（井戸尻式）

(2012『縄文土器ガイドブック』より)

④ 交差年代法

例 1

鉢a	1	2	3	4	5
鉢b	1	2	3	4	5

例 2

鉢a	1	2	3	4	5
鉢b		1		2	3

例 3

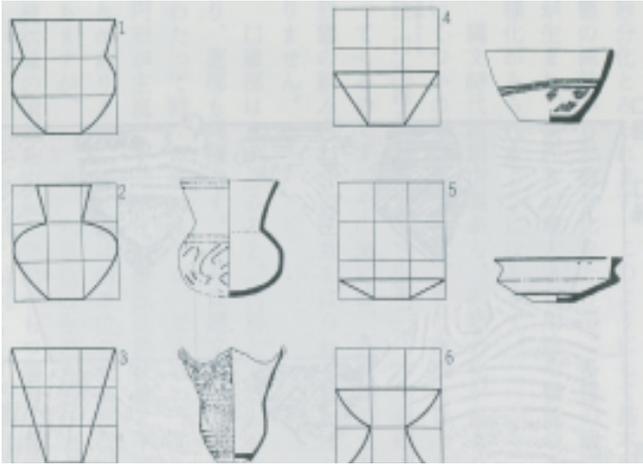
鉢a	1	2	3	4	5
鉢b	5	3	1	2	4

問題

例1～3の内、間違っているのはどれでしょう？

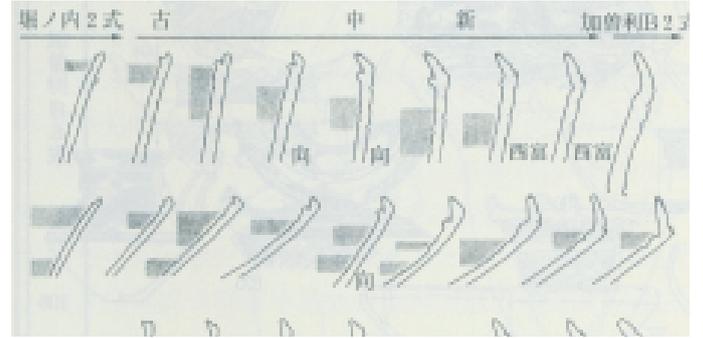
土器の観察

①形



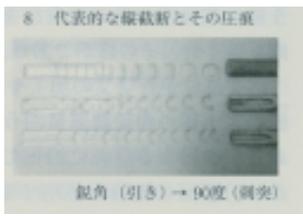
(1986『縄文土器の知識 I』より)

②厚さ

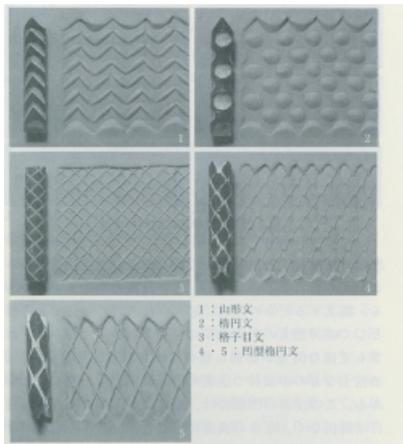


(2008『総覧 縄文土器』より)

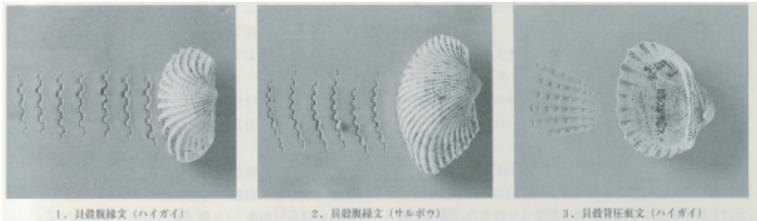
③施文法



竹管文



押型文



貝殻文

(2008『総覧 縄文土器』より)

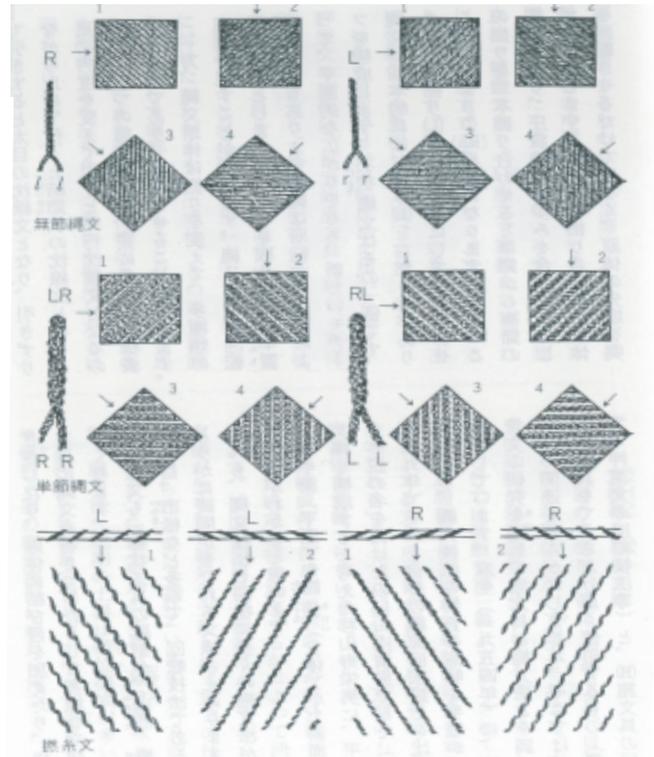
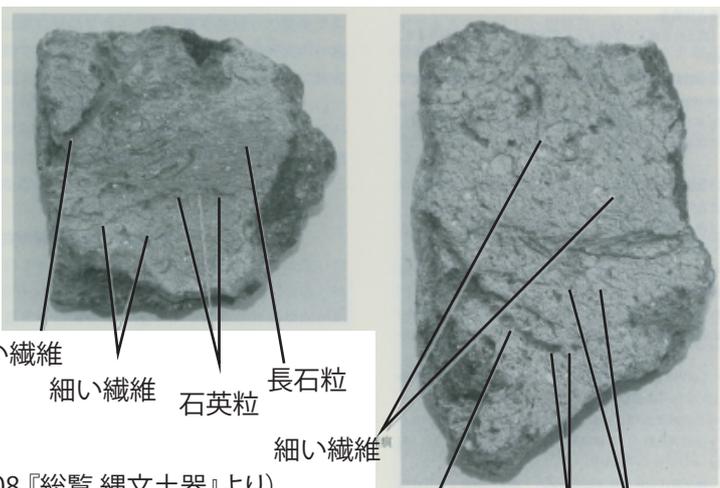


図2 縄文・縹糸文の施文法 (矢印は原体の移動方向を示す)

縄文

(1986『縄文土器の知識 I』より)

④胎土

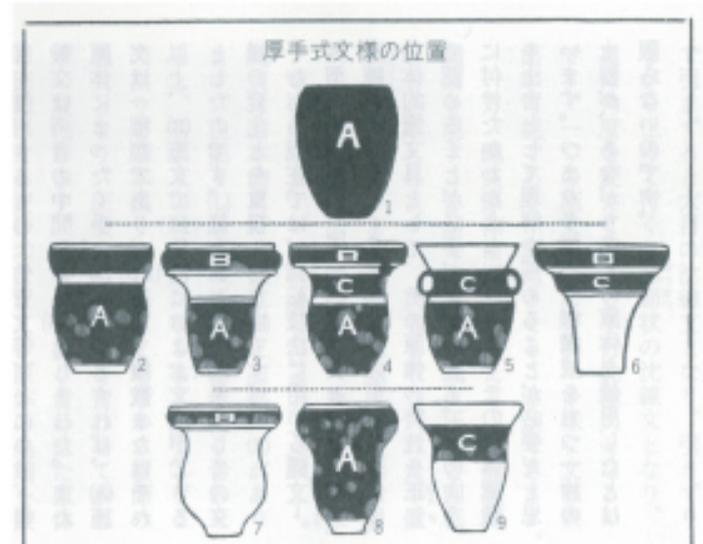


太い繊維
細い繊維
石英粒
長石粒

細い繊維
撚紐痕跡
長石粒
石英粒

(2008『総覧 縄文土器』より)

⑤文様帯



(1986『縄文土器の知識 I』より)

問題 1

袋①の土器の型式組列を作ってみよう

問題 2

袋②の土器 2 種類と袋①の土器の、正しい並び方を考えてみよう

問題 3

土器を実際に触って観察し、正しい並びを考えてみよう

参考文献

麻生優 白石浩之 1986『縄文土器の知識 I』考古学シリーズ14巻 東京美術

井口直司 2012『縄文土器ガイドブック』新泉社

小林達雄編 2008『小林達雄先生古希企画 総覧縄文土器』六一書房